



日本郵便の海外展開について

2015年6月22日

日本郵便(株)ソリューション企画部長

小池 信也

【お問合せ先】

ソリューション企画部：大住

Email: noriyuki.oosumi.yw@jp-post.jp

TEL: 03-3504-4422

日本郵便株式会社の沿革と概要

沿革

明治 4 (1871)年	郵便創業	郵便事業開始
明治 25 (1892)年		郵便小包事業開始
平成 13 (2001)年	郵政事業庁	業務と監督の分離
平成 15 (2003)年	日本郵政公社	公社化
平成 19 (2007)年10月	郵便事業株式会社	民営化(5会社化)
		日本郵政、郵便局、郵便事業、ゆうちょ銀行、かんぽ生命
平成 24 (2012)年10月	日本郵便株式会社	郵便局株式会社と郵便事業株式会社の統合

【参考】ゆうパック業務の規制に関する推移

郵政省・郵政事業庁	郵便小包	郵便法による規制、業務範囲の法定、料金規制
日本郵政公社	郵便小包	郵便法による規制、子会社による発送代行業務、料金規制
郵便事業株式会社	宅配便	貨物法制による規制、新規業務の認可、相対料金
日本郵便株式会社	宅配便	貨物法制による規制、新規業務の届出、相対料金

日本郵便株式会社の概要(平成27年4月現在)

資本金	: 4,000億円
根拠法	: 日本郵便株式会社法
設立	: 平成19年10月1日
業務内容	: 郵便業務、銀行窓口業務、保険窓口業務、国内・国際物流事業、不動産業、物販業等
営業収益	: 2兆8,191億円(うち郵便業務等収入1兆8,239億円)
営業利益	: 106億円

営業収益、営業利益は平成26年3月期

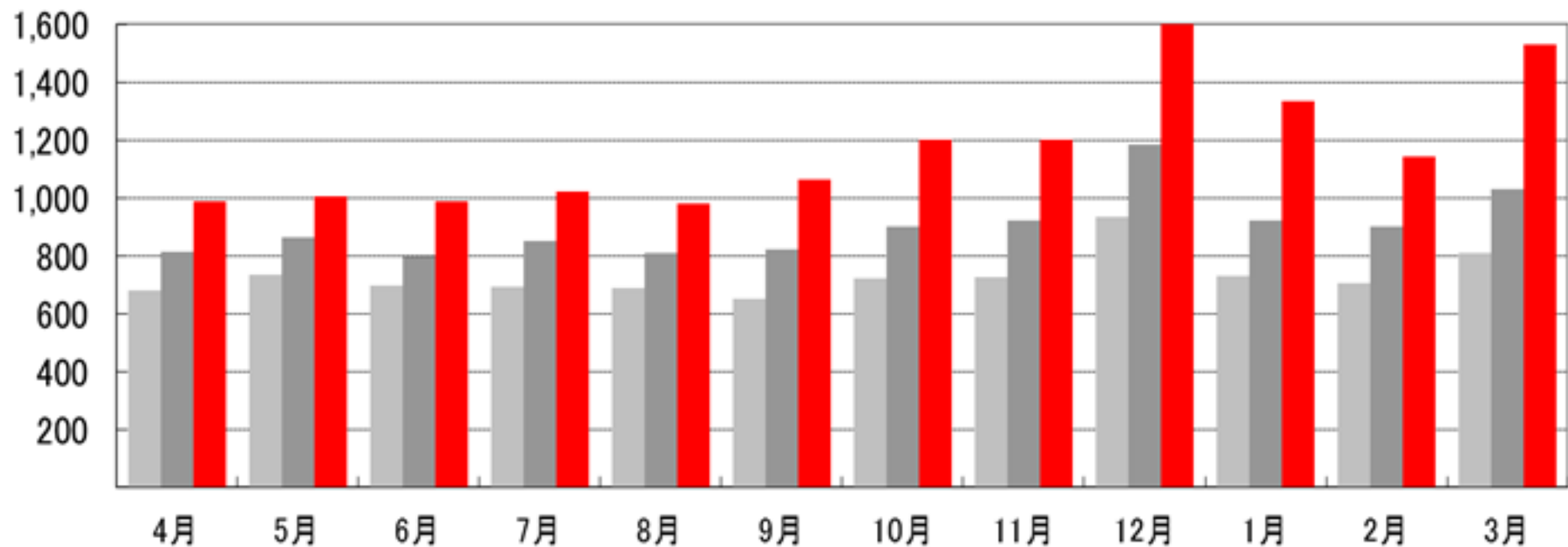
種別	商品概要	重量	料金例
通 常	国内通常とほぼ同じ (書状、郵便葉書、点字郵便物、印刷物、小形包装物)	最大 2 K g	はがき (航空) 全世界 7 0 円 航空書状アジアあて 9 0 円~
小 包	国内ゆうパックとほぼ同じ	最大 3 0 K g	東アジア航空小包 1 7 0 0 円~
E M S	通常・小包の対象となるものを最も優先的に運送・配達する郵便物	最大 3 0 K g	アジア 9 0 0 円~

種別	輸送方法	送達日数
航空便	航空機を利用して、国際間を運送 →スピード速い	7 ~ 10 日程度 (EMS の場合は 2 ~ 4 日程度)
SAL 便	航空機の空きスペースを活用して、国際間を運送 →航空便と船便の中間のスピード	2 ~ 3 週間程度
船便	船舶を利用して、国際間を運送 →スピード遅い	1 ~ 3 か月程度

最近の国際郵便の状況(日本発EMS数)

- EMSは3年連続物数が増加。前年比で約30%増の状況。国際Eコマース需要の増加の影響により、特に中国あてが前年比約70%の大幅増。

EMS月別物数の推移(2012年度~2014年度)





EMS (国際スピード郵便) とは



世界120以上の国や地域に30キロまでの書類や荷物を安心、簡単、便利に送れる国際郵便で最速のサービス。通販分野で個人ユーザーへの配送に最も利用される手段のひとつ。

■ お客さまへの訴求点

安心 お荷物の状況を調べる追跡サービスや、損害賠償制度が充実！	便利 無料のラベル印字サービスや、お荷物1個からの集荷サービスも。
速い 最優先のお届け。一部地域には配達日補償サービスもあります。	お得 料金は900円から。割引もあり、燃料サーチャージもかかりません。

■ 国際郵便マイページサービス (オンラインシッピングツール)

職場・ご自宅のプリンターでEMS等の発送に必要な書類を印刷可！

- ✓ 必要な情報を入力すれば、送り状等発送に必要な書類すべての印刷可能。
- ✓ アドレス帳、内容品のデータ登録が可能なので、入力も便利です。
- ✓ 発送履歴が管理できます。また、履歴を使って、新しい送り状の作成が簡単。
- ✓ 同じあて先へ何度も送る場合、めんどろな記入作業を省略できます！
- ✓ EMSラベルがなくても急な発送時にも便利です。
- ✓ 英数字だけでなく、中国語(あて名のみ)にも対応しています。



クールEMSとは



JALと共同で開発した専用ボックスを使用して、保冷(冷蔵・冷凍)が必要な日本の食料品等の海外への配送を行うサービス。



■ お客さまへの訴求点

KEEP 引き受けから配達まで一定の温度をキープ！ ●専用保冷ボックスでお引き受けし、冷蔵は0~10℃、冷凍は-15℃以下を72~96時間程度保持します。お届け先まで取り出すことなく届きますので、外気に触れることがありません。* ●冷蔵の届先、外気温がマイナスでも保冷ボックス内は凍らず一定の温度を保ちます。 *月間総量により、運賃別に保冷ボックスを付ける場合があります。	REASONABLE 法人も個人もリーズナブル！ ●冷蔵は4,500円から、冷凍は6,000円から。法人はもちろん個人の方でもご利用いただけます。* ●送料は翌々日にお届けします。* *1 24時間以内、事前にご了承ください。 *2 送料は別途見積りとなります。送料・運賃は、お届け先までの距離により異なります。	SAFE お届け先まで安心！ ●追跡サービス*で、配達状況が確認できます。 ●一定時間ごとにメールでお知らせすることも可能です。* *1 一部の海外先・地域に限りません。 *2 事前に法人・個人と郵便局の窓口で必ずご確認ください。
--	---	--

■ 取扱国・地域

台湾・香港・シンガポール・マレーシア・ベトナム・フランス

クールEMSの概要

クールEMSは、当社がご用意するクールボックス及び保冷材により、日本より差出したEMSを保冷状態のまま台湾・香港・シンガポール・マレーシア・ベトナム・フランスの受取人様まで配達することができます。

■ クールEMS用クールボックス及び保冷材

クールボックス(大):(シルバー)



クールボックス(小):水色



保冷材



シルバー

冷蔵用(大サイズ)



緑

冷蔵用(小サイズ)



黄色

冷凍用



クールEMS専用の保冷材を使用し、保冷クールボックス内の温度は、冷蔵は、0 ~ 10 以下を、
冷凍は、- 15 以下を、72時間 ~ 80時間程度維持することが可能です。

国際配送サービス：国際ゆうグローバルエクスプレス

7

UGX（ゆうグローバルエクスプレス）とは



海外の優れた物流事業者と提携による国際宅配便サービス。
郵便と比較して、安定した品質、付加サービス等に強みを持ち、主にB2Bにおける小荷物配送に適しています。

メリット



安定した配達日数

燃料割増料不要・・・他社は運賃のほかに燃料割増料を請求

スムーズな通関代理

関税元払い・着払い対応・・・EMSでは元払いは対応不可

集荷無料

荷物の追跡可能・・・きめ細かい追跡情報を提供

必要書類はオンライン作成

・・・国際郵便マイページサービスでラベル作成

損害賠償制度・・・1万円まで無料、1万円ごとに50円を加算することで、最高200万円までカバー。



取扱国・地域一覧

地帯	国・地域名
東アジア	韓国、台湾、中国、香港
東南アジア	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア
西アジア	インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ、ミャンマー、モルディブ
オセアニア	オーストラリア、ニュージーランド
欧州1	アイルランド、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、ルクセンブルグ
欧州2	エストニア、クロアチア、スロバキア、スロベニア、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
北米	カナダ

*国・地域によって、配達を行わない地域があります。

- 山九(株)の航空貨物事業部署を切り出し、会社設立。JPが株式の6割を取得し、子会社化することで、JPグループとして国際物流(国際郵便ではなく、国際貨物)における航空貨物輸送を中心とした輸送に対応。
- さらなる機能強化を進め、国際物流事業を新規事業として成長させ、新たな収益源とすることが狙い。

会社概要

**JAPAN POST SANKYU
GLOBAL LOGISTICS**

社 名 JPサンキュウグローバルロジスティクス株式会社
(英文名 Japan Post Sankyu Global Logistics Co., Ltd.) [JPSGL]

本 社 東京都中央区勝どき

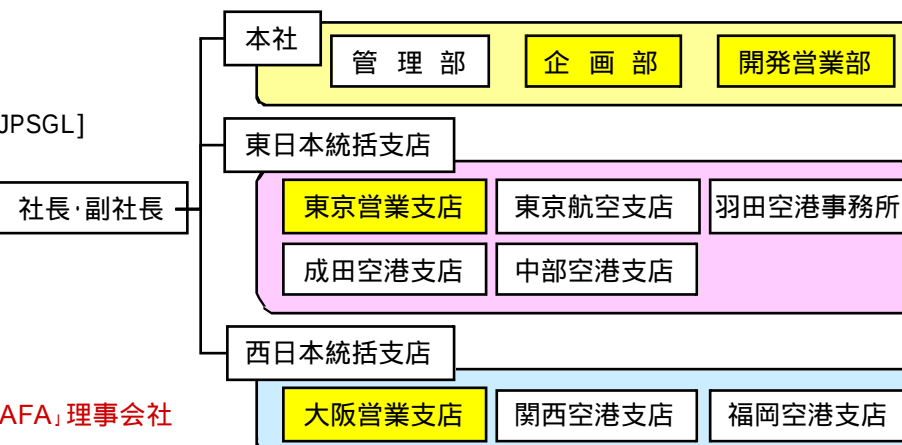
資 本 金 3 億円 (平成26年3月末現在)

出 資 比 率 日本郵便(株) 60% 山九(株) 40%

設 立 年 月 平成20年 (2008年) 7月1日

国 内 拠 点 東京・大阪 及び 成田・羽田・中部・関西・福岡の各空港

一般社団法人 航空貨物運送協会 (Japan Air cargo Forwarders Association : JAFA) 理事会社



事業内容

航空貨物を中心に、法人顧客のニーズに合せた最適な国際貨物輸送を提供するフォワーダー

法人のお客さまが、主に貿易貨物の輸出入で御利用される次の国際物流サービス

貨物利用運送事業 貨物航空運送代理店業 貨物自動車運送事業 通関業 等

輸出航空貨物輸送

海上貨物輸送取次

輸出梱包

Door-to-Door輸送

輸入航空貨物輸送

輸出入通関

環境に優しい梱包サービス

国際小口貨物輸送 (SBY)

国内集荷・配送

上屋作業 (保税・一般)

特殊貨物対応
(冷凍・冷蔵・危険品等)

ハイヤー・コンソリデーション

海外集荷・配送

上屋保管 (保税・一般)

ULD輸送

三国間輸送



- 国内ロジスティクス案件から派生した国際物流案件の引き合いが日中間を中心に増加し、競争力ある中国現地パートナー企業との連携により継続的に案件を受託。
- 2013年9月、中華人民共和国上海市政府関係当局から、会社設立の認可(営業許可証の発行)を受け、**郵便(中国)国際物流有限公司(JPCN)**を設立。中国を中心としたロジスティクス事業を充実させ、**海上輸送を中心とした物流のコンサルタントとして、総合的な物流ソリューションを提供しています。**

社名 (登記名)	郵便(中国)国際物流有限公司
英語名	Japan Post International Logistics Co.,Ltd.
設立日等	設 立 2013年 9月 6日 開業日 2013年10月24日
ロゴ及び社名 デザイン	 
所在地	上海市黄浦区延安東路45号 工商聯大厦707室
体制	董事会設置会社 1 総経理 2 1名、副総経理1名、総務マネジャー等4名
資本金	5,000万元(約8億円) 3
株主構成	日本郵便株式会社 100%
業務内容	ロジスティクス(日中間・中国国内・三国間)、関連するコンサルティング等



- 1 現地法人は、中国国内法令に従い、「董事会」(とうじかい)設置会社とします。「董事会」は、欧米等の企業における取締役会に相当するもので、意思決定及び監視に関する責任を株主から受託する「董事」(当社現地法人については、董事4名、監事1名)により構成される意思決定機関です。この董事会の長である「董事長」は、日本の理事長、会長、代表取締役相当し、法定代表として会社の代表権限を有します。
- 2 「総経理」は、日本の会社組織の社長に相当し、執行権限を有します。
- 3 1元 = 16円(2013.10.24換算)

1 2014年度の成果

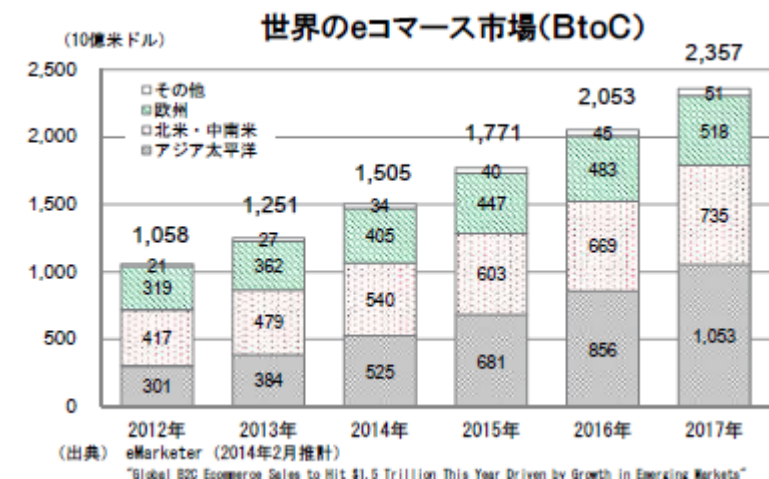
- ・ クールE M Sの名宛地域を5地域に拡大(9月)
- ・ 国際宅配サービス(U G X)のサービス開始(10月)

2 事業の成長・発展のための戦略

- ・ トール社をプラットフォームとした国際物流事業の拡大
- ・ E M S、国際宅配サービス等のサービス改善、国際ロジ展開 等
- ・ 海外販路拡大の支援(貿易代行、商談会等)

3 市場環境等

- ・ 国際輸送の拡大、物流のグローバル化



4 更なる成長・発展を目指した経営方針

- ・ 国際事業でのシェアを拡大し、アジアで存在感のある物流企業へ

- EMS・国際宅配サービス等のサービス改善、海外販路拡大の支援(貿易代行、商談会等)
- トール社の豊富なM&A実績やグローバルな経営手腕を活かし、アジア及び欧米地域での更なるM&A等を通じて、物流業界におけるリーディングプレイヤーとなることを目指す

日本郵便 + トール社 = グローバルTOP5へ※

ユニバーサルサービス

- 郵便局ネットワークを活用した郵便・貯金・保険のユニバーサルサービス等を提供

国際物流事業

- グローバル展開のプラットフォームとして、今後の成長を牽引



※ 当社調べ

主に郵便配達事業、フォワーディング事業、3PL事業に従事する企業を当社が抽出(2015年1月末時点で取得し得る売上高実績値(直近12カ月)を基に、金融等非物流事業セグメントを控除)
日本郵便は2014年9月末までの実績値、トール社は2014年6月末実績値を採用
実績値の取得期間末日の為替レートを適用

国際物流への迅速な対応が急務

→ 国際物流企業の買収による加速化が必須と判断

国際物流リーディングプレイヤーへの第一歩 ～ 豪州物流企業トール社の株式取得 ～

- ・ アジアパシフィック最大手物流企業のトール社を迎え入れることで、成長著しいアジア市場を中心に確固たる地位を確立
- ・ トール社をグローバル展開のプラットフォーム企業と位置付け、同社の有する知見と経験を活用することで、国際物流事業を拡大し、収益拡大を図る
- ・ 中長期戦略の中で、アジア及び欧米地域でのM&A等を通じ、国際物流のリーディングプレイヤーへ

トール社の特徴

- ・ アジアパシフィック地域における高いプレゼンス
- ・ グローバルなフォワーディング事業と3PL事業における豊富な経験
- ・ 多国籍企業経営の豊富な経験
- ・ 事業別・地域別にバランスのとれたポートフォリオ
- ・ 日本郵便とビジネス上重複部分がほとんどなく、相互補完の関係

Toll Group

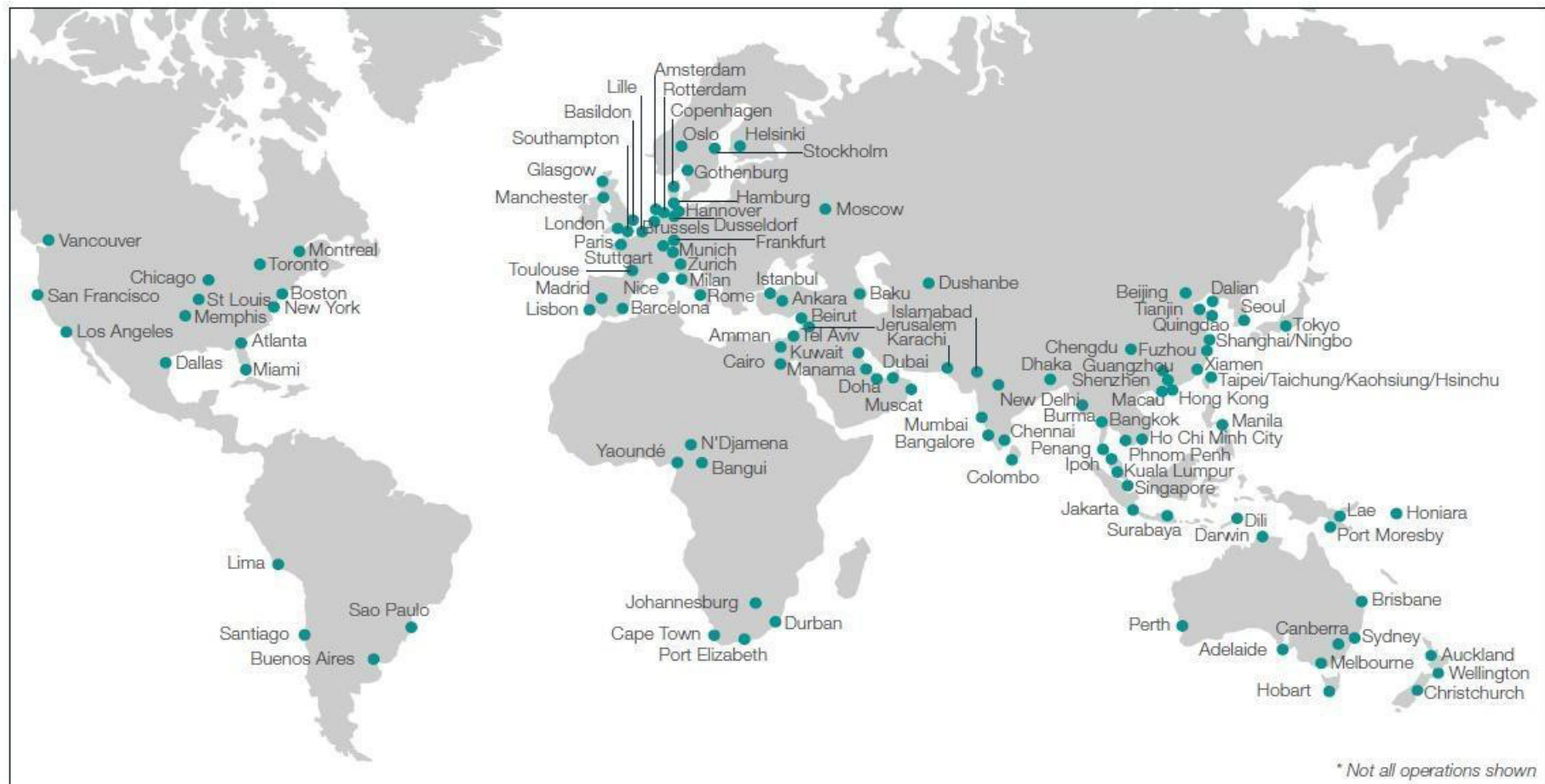
- ・トール社は、アジア地域において、統合されたロジスティクスサービスを提供するリーディングカンパニーです。
年間の売上高は、2014年で約8200億円、4万5千人以上の従業員を擁し、世界55か国以上に1,200か所を超える拠点を有しています。
- ・1888年にオーストラリアにおいて創業し、1993年に公開会社となり、現在は、グローバルなロジスティクス業務を提供する会社として成長を続けています。
(本社所在地:メルボルン)

The logo for Toll Group, featuring the word "TOLL" in a bold, italicized, teal-colored sans-serif font.

Toll Group 概観

年間収益	約8,200億円	従業員数	45,000人以上	倉庫面積	3,000,000m ² 以上
関連会社	100社以上	拠点	1,200ヶ所以上	展開国数	55ヶ国以上

進出拠点:



トール社の事業概要

■ Contract logistics driven business (コントラクト・ロジスティックス事業)

- ・ロジスティックスサービス
豪州、アジア、アフリカにおける石油・ガス、鉱山、溶液 (liquids distribution)
事業、政府・軍事部門向け事業
- ・アジア太平洋地域における国際ロジスティックスサービス

■ Network driven businesses (ネットワーク事業)

- ・国際貨物フォワーディングと高度なサプライチェーンマネジメントサービス
- ・豪州のエクスプレス貨物市場のリーダー企業として急送便を提供
- ・日本とアジアでエクスプレス・ロジスティックスを提供
- ・豪州及びNZにおける国内の全部又は一部の貨物フォワーディング